

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画 体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価 担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育環境の整備		電話番号	087-839-2616
	基本事業	教育機能と就学支援の充実		事業実施主体	市
	事務事業	遠距離児童・生徒等通学費助成事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	離島及び合併前の塩江町・香川町区域内の通学が困難な地域から通学する児童生徒の保護者、また、小学校の統合によって従前より通学距離が延長となる児童の保護者に対し、予算の範囲内で補助金を交付することにより、児童生徒の安全及び保護者負担の軽減を図る。				
	○塩江町小学校児童送迎スクールバス運行委託 ○遠距離児童等通学費補助金の交付 ○遠距離生徒通学費補助金の交付				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	②ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	離島及び合併前の塩江町・香川町区域内からの遠距離通学児童生徒の保護者を対象に実施。
意図（どのような状態にしたいか）	遠距離児童等の保護者負担を軽減するとともに、児童生徒の登下校の安全確保を図る。 通学費補助率＝通学費補助児童生徒数／通学費補助対象児童生徒数

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
① 通学費補助件数	件	11	11	9	10	10
②						

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	通学費補助率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 教育環境の均等化が図られる本事業の実施により、義務教育の円滑な実施が図られ目標とおり達成できた。 (目標達成度) 							(達成度) 100.0% 35点
成果指標②	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	28,448	28,446	25,522	29,525
（事業費）	〔円〕	25,455	25,426	22,528	26,531
（職員人件費）	〔円〕	2,993	3,020	2,994	2,994

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性 （拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 目標を概ね達成することができ、事業の目的に合った実施を行うことができています。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 申請窓口となっている学校の事務負担の軽減を図るために、対象者の把握等について、学校との連携を密に行う。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画 体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価 担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育環境の整備		電話番号	087-839-2616
	基本事業	教育機能と就学支援の充実		事業実施主体	市
	事務事業	教育資金支援事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	成績優秀かつ向学心おう盛な生徒であって、経済的理由のため進学困難な者に対し、奨学金を支給するとともに、高等学校等に入学を希望する生徒の保護者で、入学準備金の調達が困難な者に対し、入学準備金を貸し付け、教育の機会均等に努める。また、大学等へ進学した者の保護者で、入学資金融資制度を利用した者に対し、利子補給を行い、保護者の経済的負担の軽減を図る。				
年度概要	○奨学金の支給 ○入学準備金の貸付 ○大学等教育資金利子補給				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	②ソフト事業（法律による実施義務無）

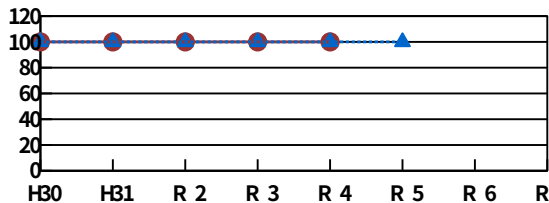
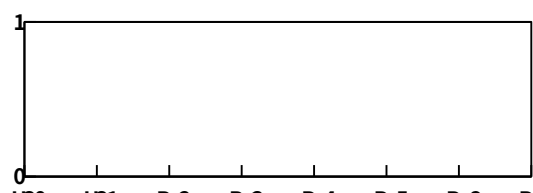
【事業の目的】

対象（何を）	経済的理由のため修学困難な者 奨学金支給制度対象生徒数＝各学校長の推薦した者 （新規決定者数）
意図（どのような状態にしたいか）	就学を希望する者が経済的理由で、その機会を失うことがないように就学の機会を与える。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
① 奨学金支給人数	人	195	208	208	190	190
②						

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	高松市の奨学金受給希望者の高等学校等の進学率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 就学者の経済的負担が軽減され、教育環境の充実に結びつき、目標とおり達成できた。 (目標達成度) 							(達成度) 100.0% 35点
成果指標②	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	25,888	27,707	29,755	31,435
（事業費）	〔円〕	22,147	23,932	26,013	27,693
（職員人件費）	〔円〕	3,741	3,775	3,742	3,742

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性 （拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 目標を概ね達成することができ、事業の目的に合った実施を行うことができている。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 例年広報誌やHP、学校を通じて制度の周知に努めているが、申請者は年々減少しており、制度そのものが市民ニーズに合致しているかどうか検討する必要がある。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	IC教育推進室
	施策	学校教育環境の整備		電話番号	087-811-2167
	基本事業	教育機能と就学支援の充実		事業実施主体	市
	事務事業	教育ICT整備・活用推進事業		事業期間	平成30年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	小・中学校の普通教室に電子黒板を設置する等、教育ICTの環境を整備するとともに、情報教育推進パイロット校での調査研究をもとに、各校での授業におけるICT活用を促し、情報活用能力の育成やアクティブ・ラーニングの視点に立った授業改善を推進する。				
年度概要	電子黒板の運用管理 GIGAスクール構想に伴う校内ネットワーク及び一人一台端末の運用管理 ICTサポートスタッフの派遣 ICT支援員の配置 GIGA端末持ち帰り本格運用				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	5-③	事務事業の類型	

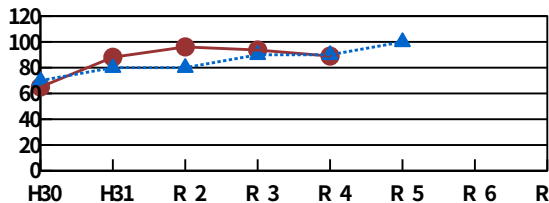
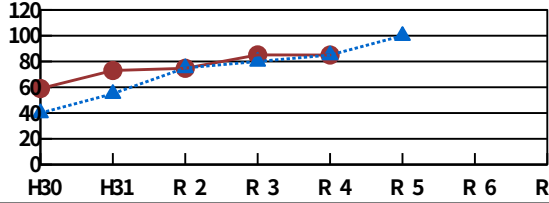
【事業の目的】

対象（何を）	市立小・中学校の児童生徒及び教員
意図（どのような状態にしたいか）	電子黒板やGIGAスクール構想によって整備した1人1台端末などを活用し、教員のICT活用に係る指導力の向上を図るとともに、より多彩な指導により、児童生徒の学習意欲の向上や情報活用能力、思考力、判断力等の育成につなげる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
① 普通教室への電子黒板の整備数	教室	1,120	1,120	1,120	1,120	1,120
②						

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
ICTを活用した授業を分かりやすいと回答した割合	%	目標値	80	90	90	100	90
		実績値	96.1	93.7	89		
成果指標① 成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 研修やICTサポートスタッフ派遣、各学校での実践紹介等により、教員のICT活用能力の向上に努めたが、電子黒板や一人一台端末等、ICTを活用した授業が日常化していることなどから、実績値が目標値を下回る結果となった。 							(達成度) 98.9% 34点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
教員の授業でのICT利用率	%	目標値	75	80	85	100	85
		実績値	74.7	85.1	85		
成果指標② 成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） GIGAスクール構想により整備した一人一台端末の本格運用や、小・中学校全ての学年の教室に整備した電子黒板の活用推進及びICTサポートスタッフ派遣により、目標を達成した。 							(達成度) 100.0% 35点

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	1,551,626	204,724	235,853	257,217
（事業費）	〔円〕	1,536,662	189,624	220,885	242,249
（職員人件費）	〔円〕	14,964	15,100	14,968	14,968

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
研修の実施や、ICTサポートスタッフの派遣による支援等を実施したが、教員のICT活用能力の差による活用頻度の差が大きな課題である。 今年度開始する端末持ち帰り本格運用やICTサポートスタッフの派遣及びICT支援員の配置による成果と課題をまとめ、一人一台端末の日常化を図り、児童生徒の情報活用能力の育成を進めていきたい。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
授業で電子黒板や一人一台端末等のICT機器を高い頻度で活用するとともに、今年度開始する端末持ち帰り本格運用を通して、ICT活用の日常化を図り、児童生徒の情報活用能力を育成する。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	高松第一高等学校事務局
	施策	学校教育環境の整備		電話番号	
	基本事業	教育機能と就学支援の充実		事業実施主体	市
	事務事業	高等学校ＩＣＴ環境整備事業	事業期間	令和 4年度～令和 5年度	

【事業全体概要】

事業の概要					
年度概要	高松第一高等学校におけるＩＣＴ環境の整備（校内ネットワークの構築、生徒学習用１人１台端末及び教師用指導端末の整備を進める。				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	②ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	高松第一高等学校の生徒
意図（どのような状態にしたいか）	生徒１人１台端末（タブレット端末）を整備することにより、学校及び家庭での学習が効率的で効果的なものとなる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
① 生徒１人１台端末導入台数	台			524	789	
②						

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	生徒１人１台端末の導入率	%	目標値			66	100	
			実績値			66		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 1・2年生を対象とした1人1台端末の導入が完了した。 (目標達成度) 							(達成度) 100.0% 35点
成果指標②	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔円〕			48,251	23,068
（事業費）	〔円〕			33,283	8,100
（職員人件費）	〔円〕			14,968	14,968

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性 （拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 校内のネットワーク環境を整備するとともに、生徒１人１台端末の整備を進めた。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 全校生徒がタブレット端末を活用した学習に取り組めるように生徒１人１台端末の導入を実施する。			